

令和2年7月、九州では4日から7日にかけて記録的な大雨となり、熊本県の球磨川など大河川での氾濫が相次ぎました。

近年は最雨量、降雨期間や範囲など記録が更新され、想定を超えた災害につながることも少なくありません。また、この時期は台風発生の可能性が高く、災害に対する備えは一時も欠かすことはできません。

気象庁ホームページによると、令和元年より過去5年間の台風の発生数は年間平均27.6個でした。今年は8月18日現在で7個と例年に比べると少ないようですが、台風発生は10月ごろまで続きます。いざというときに慌てることがないように、新型コロナウイルス感染症の対策も行いながら災害時に取るべき避難行動を、あらかじめ確認しておきましょう。

# 9月1日は 防災の日



▶ 問い合わせ 庶務係  
(☎223局3572)

※防災の日は、1923年9月1日、10万人以上の死者・行方不明者を出した関東大震災に由来しています。

## ● 避難行動を考える手順

大規模災害時は、行政（役場）の機能が停止する可能性があるため、**自らの命は自らが守る意識を持ち、あらかじめ自分の避難行動を考えておくことが大切です。**

自分がとるべき避難行動を、次の手順で考えてみましょう。

### 1 ハザードマップで自宅の位置を確認しましょう。

※ハザードマップは、役場2階総務課窓口で無料配布しています。

2 ハザードマップ上で自宅が色塗りされている場合は、避難所や安全な場所に位置する親戚宅や友人宅への避難を検討しておきましょう。また、ハザードマップ上で自宅が色塗りされていない場合でも、降雨などの気象状況によっては、避難する必要があります。気象情報や町からの避難情報に注意しましょう。

3 高齢者や体の不自由な人と一緒に避難する場合、避難に時間がかかることが想定される場合は、早めの避難を心がけましょう。



ハザードマップの確認



避難先や避難経路を家族で確認



高齢者などの避難に時間がかかりそうな場合は、早めに避難

## ● 避難情報のポイント

- ◆ ポイント1 「避難」とは「難」を避けることです。安全な場所にいる人まで避難する必要はありません。
- ◆ ポイント2 警戒レベル3や警戒レベル4が発表されたら、危険な場所から避難しましょう。
- ◆ ポイント3 避難先は、中央公民館や総合体育館などの避難所だけではありません。安全な場所に位置する親戚宅や友人宅への避難も検討しましょう。

	町が発表する情報	町がお願いする行動
警戒レベル5	災害発生情報	すでに災害が発生している可能性があります。命を守るための最善の行動をとってください。
警戒レベル4	避難勧告 避難指示（緊急）	危険な場所にいる人は、避難をしてください。
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	危険な場所にいる避難に時間のかかる人は、避難してください。

## Yahoo! 防災速報

町の防災情報を「Yahoo! 防災速報」から配信しています。

スマートフォンやタブレット、携帯電話などを使って防災情報の収集に活用してください。

※ Yahoo! 防災速報はアプリ版とメール版があります。



## ●避難する際の携行品

避難をする際、あらかじめ携行品に関して考えておくことが大切です。感染症対策を意識して、従来の携行品にマスクやアルコール消毒液などの感染症対策用品も加えておきましょう。

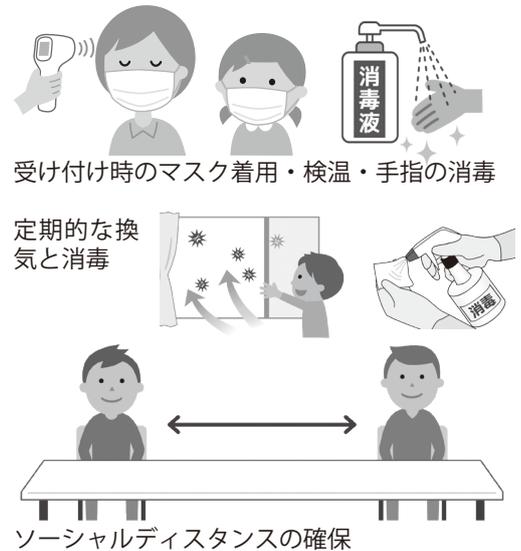
基本的な携行品 (例)	感染症対策用品 (例)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●水、食糧</li> <li>●常備薬などの医療品</li> <li>●現金や保険証などの貴重品</li> <li>●懐中電灯</li> <li>●着替え、タオル、歯ブラシ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マスク</li> <li>●アルコール消毒液</li> <li>●体温計</li> <li>●ウェットティッシュ</li> <li>●ビニール手袋</li> </ul>



## ●新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営

芦屋町では、新型コロナウイルス感染症対策のため、次の対応を行っています。避難の際には、町の避難所運営にご協力をお願いします。

- 1 避難所でのマスク着用
- 2 受け付け時の手指消毒
- 3 受け付け時の検温
- 4 避難者の健康状態に応じた部屋分け、導線の確保
- 5 定期的な換気と消毒
- 6 ソーシャルディスタンスの確保
- 7 屋内用避難テントの使用



新型コロナウイルス感染症の対応は、3密防止の観点から、避難所内の一人ひとりのスペースを通常よりも広くとる必要があります。

芦屋町では、3密にならない対策として多くの避難所を開設できる体制を整えていますが、親戚宅や友人宅など避難所以外への避難も、検討をお願いします。



屋内用避難テントの使用

## ●<sup>りさい</sup>罹災証明書

災害により被害を受けた場合、被災した人が支援を受けるためには、罹災証明書が必要になる場合があります。

罹災証明書は、災害に係る住家と住家以外の物件の被害の程度を証明する書類のことです。罹災証明書の交付を受けるためには、町へ申請手続きを行う必要があります。その場合、被害状況がわかる写真が大変役立ちます。

被災した際には、家の片付けや修理の前に、家の被害状況をカメラで撮影し、写真（データ）を保存しておきましょう。

### 写真撮影の際のポイント

- 家の外と中の両方から写真を撮影しましょう。
- 写真は、被害の「全景」と「寄り」の写真を撮影しましょう。

### 罹災した家のイメージ

屋外の4方向から全景を撮影

被災した部屋ごとに室内の全景を撮影

